



2014～15 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

Weekly Report Niigata



ロータリーに輝きを

2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ



2014～15 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹

新潟 RC 1 月第 2 例会 (2015.1.13) No.3070

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 高橋 秀樹会長挨拶

さて、前回はお正月にふさわしいおめでたい話ということで、事業所が 10 年刻みの節目を迎えた方をご紹介しましたが、本日もお正月に関連したお話にしたいと思います。松の内も過ぎたのに、いつまでお正月気分であるのだと怒られそうですが、小正月が過ぎるまでは注連縄・門松を飾っていてもよいことになっているようですから、どうかご容赦下さいませようお願いします。

さて、お正月には、ご家庭で行うことになっているちょっとした習慣がある、という方は少なくないと思います。私の場合は、少々お茶を嗜むところがありますため、お正月には気楽にのんびりとお茶を点てて服することにしておりますが、数年前から、自分だけ楽しんでいるのではなく、家族にもふるまうよう求められるようになりました。さらに、妻の実家に年始の挨拶に行くときに、そこでもお茶を点てるよう妻から命じられ、最低限の茶道具を持参して出かけるようになりました。また、妻の祖父が亡くなった時に形見分けにもらった着物があり、それを着ると妻の実家で大変喜んでくれますので、年始の挨拶の際には必ずその着物をまもって出かけてお茶を点てることにしています。今日着てきたのがその着物です。という訳で、正月にはせせと茶筌を振ることが多いのですが、自宅や妻の実家の場合は、台所や居間などで点て、細かい作法も気にしない気楽なものなのですが、お正月には、お茶の先生の御初釜のお招きに与ることもございます。これは勿論きちんとしたお茶事になりまして、お作法やお茶室の荘りつけも正式なものになります。お茶室に入りますと、まずは荘りつけの最も重要なものとして、床の間の掛物を拝見することになりますが、お正月に相応しい禅語の墨跡が掛っていることが多く、身も心も清々しく引き締まる思いがいたします。お正月に相応しい禅語としては、以下のようなものがあります。

- ・慶雲五彩生(けううんごさいをしょうず)
- ・彩鳳舞丹青(さいほうたんしょうにまう)
- ・山呼万歳聲(やまはよぶばんぜいのこえ)
- ・日出乾坤輝(ひいでてけんこんかがやく)
- ・寿南山似(じゅはなんざんににたり)
- ・寿山青不老(じゅざんあおくしておいず)
- ・春入処々花(はるはいるしよしよのはな)

- ・松樹千年翠(しょうじゅせんねんのみどり)
- ・松柏千年寿(しょうはくせんねんのじゅ)
- ・神光照天地(しんこうてんちをてらす)
- ・青松多寿色(せいしょうじゅしよくおおし)
- ・天地一家春(てんちいつかのはる)
- ・不二(ふじ)
- ・福寿海無量(ふくじゅかいむりょう)
- ・蓬萊不老仙(ほうらいふろうのせん)
- ・万歳緑毛龜(ばんざいりよくもうのかめ)
- ・無事是貴人(ぶじこれききにん)

この中の一つ、「山呼万歳聲」を取り上げてお話ししたいと思います。これは「やまはよぶばんぜい(ばんざい)のこえ」と読みますが、中国の故事に因む言葉です。前漢の時代、元封(げんぷう)元年、すなわち紀元前 110 年、今から二千年以上昔になりますが、その正月元日に、時の皇帝だった武帝が、大勢の臣民と嵩山(すうざん)に登り、自ら祭壇を造って、山の神々に、天下泰平、国家鎮護を祈念しました。見守っていた臣民たちが感激して歓呼の声をあげたところ、山々にこだまして、あたかも山々と森羅万象が声を発して「万歳、万歳、万々歳」と大きく三度呼ばわったように聞こえたそうです。それ以来、おめでたいとき「万歳」と呼ぶ習わしになったとされております。

つまり、世のため人のために願う振る舞いが周囲の人々に感動を与え、それぞれの立場を超えてどんどん響き渡っていった、ついには世界全体のうねりようになったということなのですが、この故事をこの場で取り上げたのは、まさにロータリーの始まりと通じるところがあり、ロータリーのお正月に相応しいと思うからです。

みなさんご存じのように、1905 年、経済恐慌で人心が荒れていたアメリカ合衆国シカゴでは、商取引をはじめ様々な面で人々の信頼関係が破綻していました。発注した品物がいつまでたっても届かないとか、代金を払っても納品されないとか、納品はされても在庫がないため別な商品が送り付けられてくるとか、現在では考えられないようなことがいつ起こってもおかしくない状況でした。これを憂いたポール・ハリスが仲間たちと語らって、信頼しあって仕事ができる仲間を作っていくと考え、一業種あたり一人の会員として、多様な業種に広めていったのが、ロータリークラブの始まりです。これが瞬間に広まっていった、世界全体が呼応し、現在に至っているわけでありませう。

様々な考えを持つ人々、様々な業種の人々が、それぞれ考え方の違いと多様性を認め合いながら、一つにまとまり、同じ理念のもと、「ロータリーの目的(綱領)」、ロータリーの「四つのテスト」、「ロータリーソング」を唱え、高らかに声を合わせる、これこそまさに「山は呼ぶ万歳の声」であり、「万歳、万歳、万々歳」だと考えることができるのではないのでしょうか。

年の初めに相応しく、1905年のポール・ハリスに思いを馳せ、ロータリーソングを唱和し、「ロータリーの目的(綱領)」「四つのテスト」の文言も改めて熟読玩味したいものがあります。本日の会長挨拶は以上です。

ロータリーの目的(綱領)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

(3) 石橋正利君より”やりがい”と”連帯感”がもてる最強の組織を創る6つの要件～組織マネジメントへの挑戦～ (株)総合教区研究所作製の贈呈、ご紹介

(4) 新会員の紹介



(株)双北造園
代表取締役 松本 英明君
所属委員会 親睦委員会

松本 英明と申します。3年10カ月前までは、福島県の浪江町に住んで居ました。震災後、新潟にお世話になり、今日に至ります。浪江では、30名程の従業員を抱え小さな造園業を営んで居りましたが、現在は、長男一家共々、新潟でお世話になっております。現在の住まいは、女池の賃貸マンションで女房と2人暮らしです。昨年10月に、思いもかけない病気を患い12月に退院したばかりで、まだ本調子ではありませんが、皆様と一緒にロータリー活動に関わって行きたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

(5) 委員会報告

・岡村親睦委員長より新年家族会のご案内

1月27日 午後5時受付開始 5時45分開会
於 行形亭

(6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(樋熊 紀雄委員長)

石本隆太郎君

米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)

石本隆太郎君 徳山 啓聖君

青少年育成基金寄付発表(山田 隆一委員長)

本間 彊君 樋熊 紀雄君

(7) ニコニコボックス紹介(塚田 正幸委員長)

・伊原 健至君 創業60周年の御祝いありがとうございます。なお一層の努力をしてみたいです。

・高橋 秀松君 本年、創業130をむかえる事ができました。ありがとうございました。

・石本隆太郎君 思いもかけず「会社創立80周年」のお祝いをいただき、感謝しております。早速、社員全員にも発表し、創意工夫により次なる90周年、100周年を目指して努力することを誓ったしたいです。

・石橋 正利君 父の七回忌が無事終わりました。父のことをなつかしく思い出す場となりました。親への感謝に加え、寄付させていただきます。

・務台 昭彦君 先月12月8日に29回目の結婚記念日のお花をいただきました。妻も大変喜んでおりました。新潟で仕事をするようになって、半年が過ぎ、新しい年を無事迎えられたことを含めてニコニコします。

・松本 英明君 入会認証ありがとうございます。

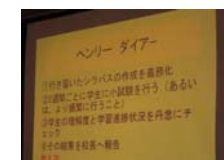
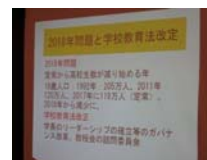
・塚田 正幸君 今まで浪江RCの松本英明さんが今日から新潟RCの会員になりました。東日本大震災以降様々な苦労を経験され、2012年3月から頻りに新潟RCへビジターとして参加されてきました。これからは新潟RC会員として活動される事を心からお祝いしてニコニコします。

(8) 幹事報告(安藤 栄寿幹事)

・例会終了後、新会員オリエンテーションを4階「雪椿の間」で開催致します。

(9) 会員スピーチ 「大学の昔と今 -独断と偏見-」

事業創造大学院大学学長 仙石 正和君



(10) 本日の出席率 72.17 %

2週間前は規定休会

1月20日の例会予定

卓話「新潟大学の現在と未来」

新潟大学学長 高橋 姿氏